

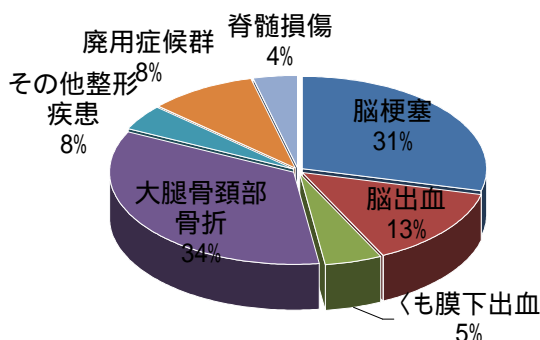
# 平成23年度 回復期病棟実績報告

この度、平成23年度の診療実績がまとまりましたので、ご報告させていただきます。  
今後とも入院患者の皆様には在宅復帰を目標とした最善のリハビリテーションを提供すると共に、快適な療養生活を過ごしていただけますよう職員一同心掛けてまいります。

また、各医療機関の皆様と地域連携を推進しながら、患者様の在宅復帰をサポートできる医療機関としての努めを果たしてまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

## 疾患割合

疾患名	人数
脳梗塞	52
脳出血	25
くも膜下出血	9
大腿骨頸部骨折	62
その他の整形疾患	8
廃用症候群	17
脊髄損傷	7
合計	180



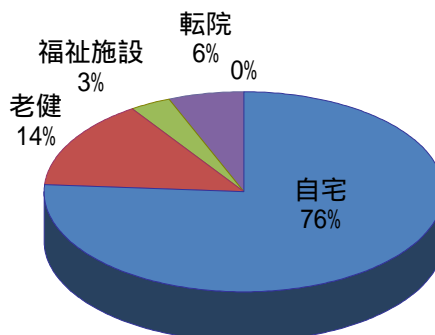
## 入退院実績

回復期リハビリテーション病棟の目標である在宅へ退院された方は、全退院患者の76%で、非常に高い在宅復帰率を得ることが出来ました。

また、当院は、老人保健施設や長期療養型医療施設および通所リハビリが併設されており、リハビリテーションの継続が必要な方にも、安心してご利用いただいております。

	総数	月平均
入院人数	177	14.8
退院人数	180	15
在宅復帰率	76%	

	全体	割合
自宅	137	76%
老健	26	14%
福祉施設	6	3%
転院	11	6%
急変・死亡	0	0%



## 疾患別日常生活動作機能的自立度(FIM)指標の変化

FIMとは機能的自立度評価表(Functional Independence Measure)の略であり、日常生活で行っている活動を7点満点の18項目(食事、更衣、移動、排泄等の運動項目、理解、記憶等の認知項目)で評価され、全項目自立されていると126点となります。一般的に器具等を使用しての修正自立が6点とされており、合計108点付近が在宅復帰の目安となっています。

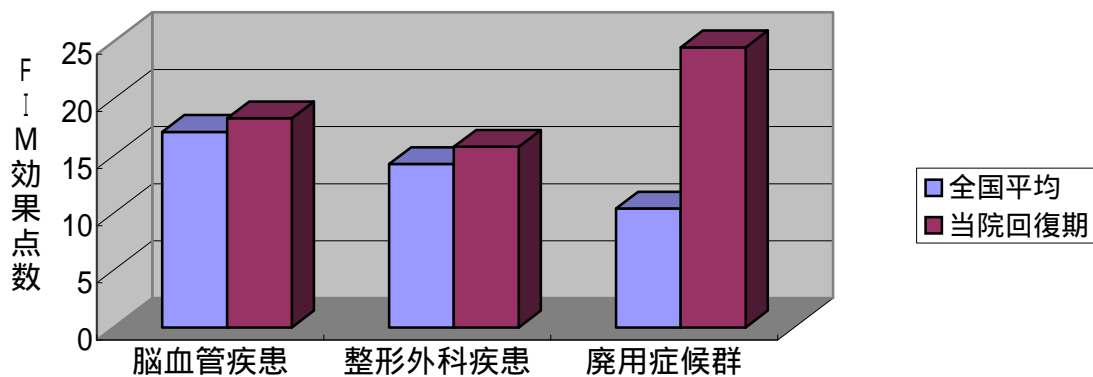
なかでも、FIM効果指数は、回復期リハビリテーション病棟に入院してどの程度日常生活が改善したかの指標で、点数が大きいほど治療効果が高いことを示しています。

当院回復期病棟におけるFIM効果は、全国平均を上回っており、高いリハビリテーション効果を得ることができております。

FIM全体

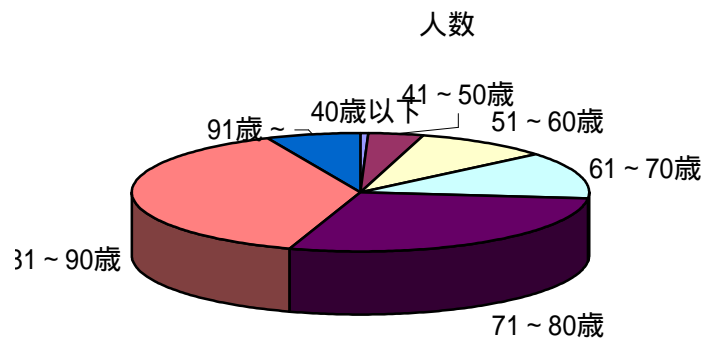
	脳血管系			整形外科系			廃用症候群			全体		
	入院時	退院時	FIM効果	入院時	退院時	FIM効果	入院時	退院時	FIM効果	入院時	退院時	FIM効果
当院回復期	68.7	87	18.3	80.8	96.6	15.8	65.3	89.8	24.5	71.6	91.13	19.53
全国平均	68.1	85.2	17.1	83.8	98.1	14.3	64.6	75	10.4	73.6	88.9	15.3

全国平均値とのFIM効果比較



## 年齢割合

年齢	人数
40歳以下	1
41～50歳	7
51～60歳	17
61～70歳	23
71～80歳	51
81～90歳	69
91歳～	12
当院平均年齢	76.8
全国平均	74.5



## 在院日数

最大限の機能回復や日常生活動作の改善を得ることが出来ますよう、十分なりハビリテーション体制を整え、在宅復帰への支援を行っております。

平均入院日数

	脳血管	運動器	廃用
当院	110	53	75
全国平均	91.5	54.8	55.2

(日)